



2022年3月
代表理事 小林 幸一郎



ごあいさつ

スポーツが「画面の中のもの」ではなく、
自分ごとであるように。我慢の年も種を蒔いて

2021年を表す漢字一文字が「金」であったように、1年の延期を経た東京オリンピック・パラリンピックの開催とアスリート達の輝かしい活躍の姿は、まさに今年を象徴するものでした。しかし、緊急事態宣言が年初より繰り返し発出される社会状況下、ほとんどの方にとって、東京で開催されたその大会は「画面の中」でのものとなりました。

そのような中秋を迎えるころ、私どもも様々なイベントを少しずつ再開できるようになり、東京のみならず全国各地で、多くの方がクライミングを通して共に時間を過ごしたり、交流を図ったりすることを待ち望んでいたのだと実感することができました。

実際に様々な人がクライミングというスポーツを楽しむことの大切さを再確認したこの2021年の経験を活かし、休止を余儀なくされてきた様々な事業を再稼働させるなど、社会から期待いただくモンキーマジックならではの活動をこれからも一層前進させてゆきます。

活動要旨

副代表 水谷 理

活動への絶やさぬ想いを受け止めた年

クライミングを通じて障害当事者の運動機会をつくること、そして障害があってもなくても一緒に楽しむことのできる多様性理解促進活動に、2021年も賛同いただき心より御礼申し上げます。

人々が一堂に会す交流イベントは一時は中止判断の時期もあった一方、障害者を対象とした小規模クライミングスクールは通年、継続的に開催することができました。ひとえに、継続して活動を支えてくださる個人・企業の皆さまからのご支援・ご寄付のたまものです。

モンキーマジックの活動に継続的に寄り添ってくださることに、活動を絶やさず続けていくことの重要さと法人としての責任を改めて感じた2021年でした。これからも活動の維持・継続、そして更なる発展に向けて邁進いたします。今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

Summary 目次

ごあいさつ・活動要旨 ▶ P1

VOICE モンキーな人々に話を聞いてみた ▶ P4-7

TOPIC 2021年のトピック ▶ P8-11

主催事業① 交流型クライミングイベント/スクール・練習会 ▶ P12-15

主催事業② 地域交流事業 ▶ P16-17

受託事業 ▶ P18-21

MEDIA メディア掲載・出演 ▶ P22-23

サポートグッズ・その他の事業 ▶ P24-25

DONATION / SUPPORT 寄付・協賛 ▶ P26-27

ABOUT モンキーマジックについて ▶ P28-29

Voice

モンキーな人々に話を聞いてみた



INTERVIEW #1 常連さんのかつみさん

NHKラジオでモンキーマジックのことを知り、体力維持のためにも、いつかクライミングに挑戦したいと思っていました。

ホームページを見て、思い切って参加したクライミングスクールが楽しかったので、交流イベント「マンデーマジック東京@高田馬場」にも参加するようになりました。

初心者の頃は自分が登ることでいっぱいでしたが、慣れて余裕がでてきたら、クライミングだけでなく、一緒に登る方たちと繋がれることも楽しいと思えるようになり今に至っています。

Q. 参加によって起こった変化や良いと思う点

まず体幹が強くなりました (笑)

色々な人が参加されるので、何をやるにも様々なアプローチの仕方があるのだと知り、自分のやり方にこだわらないでいられたり、**大変そうなことでも、楽しく工夫できないかと考えるようになりました。**

障害の有無や職業国籍など問わず、参加者を受け入れてくださるのは嬉しいですし、そのような人たちと関われるのも楽しいです。

クライミングをしてみたいと思っている方がいたら**その方に合った登り方を考えて、可能性を広げようとするのも素敵だと思います。**



かつみさん (イベント/スクール参加者)

今後に期待すること

クライミングの知名度が上がったと言っても、私の周りでやっている人はまだ少数です。(イベントなどを通じて)誰でも楽しめるものだということが広まれば良いなあと考えています。

こんなに楽しいものが子どもの頃にあったらよかったのと思うこともよくあります。運動不足になりやすい盲学校の生徒たちのためにも、いつか体育の授業のカリキュラムになるのも良いですね。

INTERVIEW #2 目かくしコンペ出場ペア



秋山 敦子さん
(チーム「でらモンキーズ」/45歳)

平木 大運さん
(チーム「でらモンキーズ」/44歳)

秋山さん：普段は名古屋で「尾張でらモンキー」の活動をお手伝いしています。

首都圏のモンキーマジックのイベントや、他地域の交流型クライミングイベントにも参加してみたいと以前から思っていて、小林さんの「東京の目かくしコンペに尾張でらモンキーから誰か参加してくれたら嬉しいなあ…」という言葉と、ペアを組んだ平木さんのお誘いもあり、参加してみよう！と思いました。

実際に参加してビックリしたのは、登る時だけでなく、移動や待機の時も常に目かくしをするので、**見えない世界を体験できたこと。**ほんの1時間ちょっとが体感的にはもっと長く感じました。

最初は不安な気持ちだったのが、次第にペアの平木さんとの会話や周りの雰囲気を感じることで安心でき、登る時は**普段よりも登りに集中して楽しめていたように感じました。**

この活動に関わるようになって、私は常に変化し続けている気がします。

クライミングの経験もなく、最初は障害のある方とも接することもなく。それが、「尾張でらモンキー」のイベントに参加し続け、クライミングを通じて少しずつ障害のある方と関わりを持ったことで、今では人見知りの私が、初めましての方たちと出会うことにワクワクしたり、そんな自分に少しだけ自信を持っている気がします。

モンキーマジックがなんで楽しいのかなーって考えると、やっぱりなんとも言えないこのいい感じの雰囲気ですかね。誰でもウェルカムで迎えてくれて、誰でも戻って来られる場所。尾張でらモンキーもそんな場所でありたいと思っています。

平木さん：（目かくしコンペは）いろんな人がいてお祭りみたいな感じが良かったです。（コンペ参加後は）保持力をもっと向上させたいと思い、普段クライミングでも意識しています。

もっと全国の人たちが集まれば良いと思いました。あと、このお祭りを名古屋やいろんな都市でも開催してもらいたいです。全体的にグレードを下げて、初心者でも楽しめるお祭りイベントがあると良いと思います。



M.A (大学生) サトウ(22歳)

交流イベント参加を通して、お2人には「クライミングが若い女性に与える影響」を卒論論文の研究テーマとして選んでいただきました。

INTERVIEW #3 研究中の学生のお2人



M.Aさん：（交流イベントに参加して）障害がある人もない人も1つの課題に対して一緒に取り組めて、応援しあえる環境があり、とても良い雰囲気の中でクライミングをすることができました。

少し登れるようになるだけで大きな達成感を感じるので、達成感を感じられる機会が多く、普段動かさない筋肉を使うことで充実感もあります。

（楽しいと思うのは）何より、自分が難しい課題をクリアした時に喜びを感じられるし、一緒に同じ課題に挑戦していた人が課題をクリアした時にも一緒に喜び合えること！

サトウさん：障害の有無や年齢、性別を超えて様々な人と交流し、一緒に楽しむことができたのが新鮮で面白かったです。クライミング初心者でしたが気軽に参加することができました。

一人で登るときとは違ってグループの人と課題を達成したときの喜びを共有でき、クライミングがより好きになりました。また、自然に会話できる感覚があったので、もっと色々な人と関わりたいと思うようになりました。



他の参加者や障害がある人とクライミングを通して気を遣わずに交流できる点が良いと感じました。どうすれば登り切れるかを考えることに意識が向くので、助けているという感覚もなく同じ目線で楽しむことができたように思います。

気軽に楽しめるし、とても気づきの多いイベントだと思うので、若い女性にももっと参加してほしい！

Topic トピック

ローレウス財団より助成を受け事業を開始しました



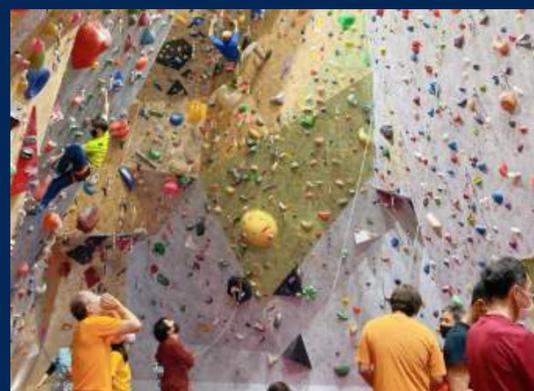
英国に本部を置くローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団より、モンキーマジックにとっては初となる海外からの助成を受けることになり、クライミングを通じた若者の支援と「多様性理解促進交流型クライミング」事業の展開を開始しました。

事業を通じて、障害・年齢・性別・文化の違いを越えて、それぞれの人が社会の一員として支え合う中で、安心して暮らし、自分らしく持てる力を発揮して元気に暮らすことのできる社会の促進を実現します。

4月に開催したマンデーマジック横浜@戸塚には、アンバサダーを務める為末大さんが参加され、目かくしクライミングや見えないクライマーへのナビを体験してくださいました。

(写真 © Getty for Laureus)

マンデーマジック東京@葛西が始動！



障害の有無関係なく、どなたでもクライミングを楽しめるモンキーマジックの交流型クライミングイベント。葛西ロックランズのご協力により、初のトップロープクライミングに挑戦できる「マンデーマジック東京@葛西」がスタート！

ボルダリングの経験のみという方もとっつきやすく、車いすユーザーの方にも楽しんでいただけるイベントです！

▶ 開催情報はこちら <https://www.monkeymagic.or.jp/magic/monday-magic-tokyo-kasai>

事務所を移転しました



事業の執務機能向上に伴い事務所を移転し、2021年7月1日より新事務所より営業を開始いたしました。

新事務所開設に伴い、Amazon ほしい物リスト(ウィッシュリスト)を公開したところ、実にたくさんの物資が新事務所に届きました！

ご支援いただいた数多くの皆さまに、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

代表小林が聖火ランナーを務めました



7月16日に代表小林が地元東京・武蔵野市にて、聖火リレーのランナーを務めました。

当日は、小林のホームジムである武蔵野市の「三鷹ジム」のオーナー・なみすけさんに介助いただき、セレモニーでのひとりひとりのトーチに聖火を灯してつないでゆく「トーチキス」の大役を果たしました。

主催目かくしコンペを今年も開催！



11月6日(土)に7回目となる弊社主催の目かくしコンペ『見ざるチャレンジクライミング』を開催しました。

今年は17組38名(ナビを含む)のペア(内、視覚障害4名、機能障害1名)にご出場いただき、スタッフ・ボランティアスタッフ31名、セッター5名と多くの方に支えていただき、無事開催できました。

特別協賛 THE NORTH FACE (株式会社ゴールドウイン) / CHUMS (株式会社ランドウエル) / 株式会社シーワテック

協賛 アサヒ飲料株式会社

● ルルレモン「Here to be」助成による事業開始

ヨガやスポーツをする女性のために、誰もが魅力的に見えるようなスポーツ専門ウェアを展開するカナダの「ルルレモン」。その社会貢献活動の基盤プログラムである「Here to be」の助成を受け、コロナ禍で休止した全国交流型クライミングイベントの立て直しと新たな協力地域の発掘を行う、障害者クライミング普及事業を始動します。

● ROKX (ロックス) とのコラボレーションが実現



ご寄付をいただいた方に返礼品として差し上げるサポートグッズ。初のボトムスアイテムで、念願のRokxクライミングパンツのコラボがスタートしました。

設計に際しては、上の服を着ても見えるようにとお猿の刺繍位置にもこだわっていただき、視覚障害の方にも嬉しい設計です。

今後も新たなパンツを発表予定です。

● 朝日ライフ 社会貢献ファンド 第21期寄付先に採択

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社「SRI 社会貢献ファンド（愛称：あすのはね）」の第21期寄付先に採択いただきました。健常者と障害者が「助ける・助けられる」関係性ではなく、同じクライミング仲間として関わり、互いに壁を取り払い、理解しあう価値ある機会づくりを評価いただき、副代表水谷が贈呈式に出席しました。

● 「azbil みつばち倶楽部」の支援先に採択

アズビル株式会社による社会貢献プログラム「azbil みつばち倶楽部」の支援先に、昨年に続き採択いただき、ご寄付をいただきました。

● 賛助企業に(株)シーワテック、東商アソシエート(株)

昨年に続き、賛助企業として福祉機器を扱う株式会社シーワテックと、クライミングウォール施工事業を行う東商アソシエート株式会社にご支援をいただきました。

● 神奈川県障害者スポーツ教室で指導を担当



11月と12月の2回、神奈川県障害者スポーツ協会主催の「障害者スポーツ教室(ボルダリング)」の指導を担当しました。

視覚障害1名、知的・精神障害13名の子どもたちとその保護者や兄弟含む30名ほどの方にご参加いただき、みんなで同じ課題に挑戦していただくなど、笑いの絶えない時間でした！

● 第72回 保健文化賞 贈呈式にて天皇皇后両陛下に拝謁



第一生命保険株式会社が主催する「第72回保健文化賞」の受賞(2020年)に伴い、明治記念館にてコロナ禍で延期されていた贈呈式、並びに皇居・宮殿内にて天皇皇后両陛下に拝謁しました。

天皇皇后両陛下に拝謁した際には、直々に障害者クライミング普及活動への励ましのお言葉を賜りました。

● 日独交流パラクライミング講習会を開催しました



ドイツで活動されている島崎カタリーナ美紀さんを講師に、法人スタッフと全国の交流イベントのメンバーと共にオンラインでの日独交流パラクライミング講習会を開催しました。

講習ではドイツでのパラクライミングの発祥や展開、先行研究の紹介、パラクライマーの実例などを動画で紹介いただきながら、ビレイやギア選択時の注意点をお聞きしました。

主催事業 スクール / イベント

主催事業について

主催事業は下記の3種類です。

- ① 交流型クライミングイベント
- ② クライミングスクール・練習会
- ③ 全国交流型クライミングイベント

2021年
主催事業開催回数 **76回**

参加者の内訳



うち障害者 **378名**
(視覚/聴覚/上肢・下肢/重複含む)

昨年のデータ
開催回数：83回
総参加者数：822名
うち障害者：352名

交流型クライミングイベント

障害の有無関係なく参加、交流しあえるイベントで、過去累計1,000人以上が参加しています。

マンデーマジック東京@高田馬場 @NOBOROCK 高田馬場店

開催回数	6回	障害の内訳
参加者	122名	視覚障害 42名
うち障害者	60名	聴覚障害 6名
		上肢/下肢 3名
		その他 9名



マンデーマジック東京@葛西 @葛西 ロックランズ

開催回数	4回	障害の内訳
参加者	28名	視覚障害 12名
うち障害者	20名	聴覚障害 2名
		上肢/下肢 4名
		その他 2名



マンデーマジック横浜@戸塚 @CLIMBING GYM RISE

開催回数	5回	障害の内訳
参加者	70名	視覚障害 21名
うち障害者	28名	聴覚障害 3名
		上肢/下肢 3名
		その他 1名



開催情報は [こちら](#) 🙌

取材のご依頼・ご質問もいつでもお問合わせください!



クライミングスクール・練習会

クライミングに挑戦・継続したい障害のある方や、障害者クライミングに対して関心のある方がご参加いただける機会を提供

インドアスクール

ベースキャンプ入間店(埼玉県)・ノーズ町田店(東京都)・グリーンアロー海浜幕張(千葉県)

開催回数 **11**回

障害の内訳

視覚障害 36名

参加者 **55**名

上肢/下肢 14名

うち障害者 **50**名



キッズスクール

グリーンアロー海浜幕張(千葉県)

開催回数 **1**回

障害の内訳

視覚障害 5名

参加者 **5**名

うち障害者 **5**名



ロープクライミング体験会・練習会

ノーズ町田店(東京都)・グリーンアロー海浜幕張(千葉県)

開催回数 **8**回

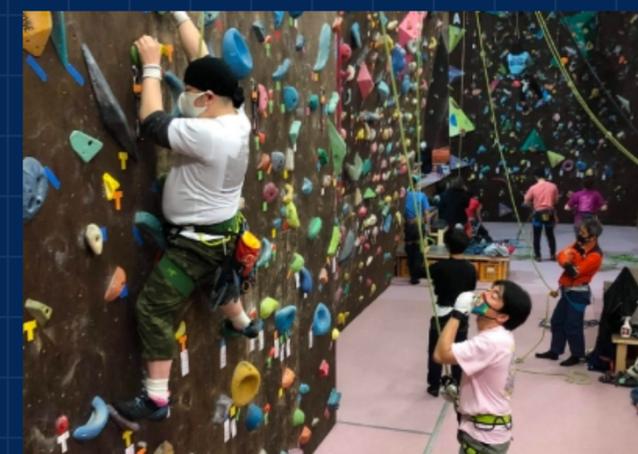
障害の内訳

視覚障害 28名

参加者 **41**名

上肢/下肢 7名

うち障害者 **35**名



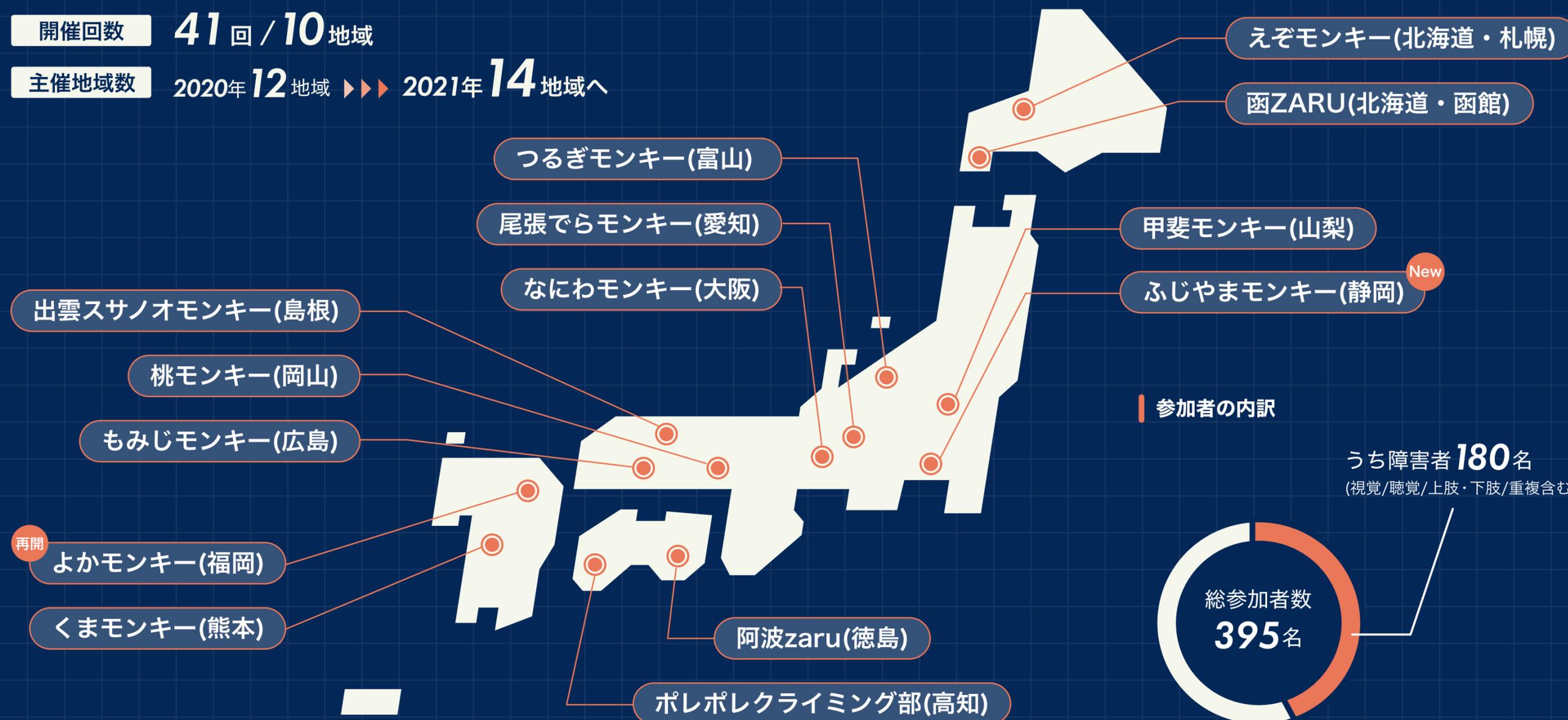
全国交流型クライミングイベント

活動趣旨に賛同してくださった有志によって、主催イベントのある東京・横浜以外に全国14カ所で定期的なイベントが開催・運営されています。

続くコロナ禍で開催が難しい地域もあった一方、再開できたり新たに発足した地域も！

開催回数 **41**回 / **10**地域

主催地域数 2020年 **12**地域 ▶▶▶ 2021年 **14**地域へ



全国交流型クライミングイベントの3つのポイント

- 地域の人々が主催して定期的開催する地域に根ざしたクライミングイベント
- 障害の有無や年齢・性別・国籍などの違いに関係なく、全員が同じいち参加者
- 新しい人と人がつながり、多様性を認め合い、クライミングを楽しむ仲間になれる場所



あなたのお住まいの近くで
開催しているイベントを
チェック！

受託事業

講習会 / 講演など

モンキーマジックでは企業や行政、教育機関に向けた様々な講演・ワークショップや研修プログラムを提供しています。

筑波技術大学オンラインイベントにて講演

筑波技術大学 第13回 三大学連携障がい者のためのスポーツイベントがオンライン開催となる中で、「パラクライミングが広げる障害者の世界」と題して代表小林が講演を行いました。

オンライン講演

国分寺市立第5小学校にて特別講師を務めました

小学4年生の2クラスを対象に、代表小林が視覚障害者への理解を促進を目的とした総合学習の授業のゲスト講師を務めました。

オフライン講演

埼玉県川口市立青木中学校にて特別授業

中学校2年生全7クラス270名の生徒を対象に、代表小林が総合学習の授業の視覚障害者への理解を促進を目的とした特別授業を行いました。

オフライン講演

東京都立桐ヶ丘高等学校にて副代表水谷が特別講師を務めました

高校1年生3部（午前・午後・夜間）合計12クラスを対象に、インクルーシブ教育をテーマに副代表水谷が講演を行いました。同校での講演は今年で5年目。

オフライン講演

神奈川県松田町「松田町健康スポーツ教室」にてボルダリングを指導

町民文化センターの大ホールステージ上に設置されたボルダリング壁にて、2日間通して20～70代の方々にお越しいただきました。計37手のもの長い課題もつくってきました。

クライミング指導



「Athlete Zoo -beyond 2020- vol.12」に登壇

合同会社All Days Sports主催のオンライン講演会にて、見えない壁を乗り越える！～視覚障害フリークライマー 小林幸一郎氏が目指すユニバーサル社会とは？～と題して、約50名の方を対象に講演しました。

オンライン講演

神奈川県松田町にて現役パラクライミングアスリート講演会&ボルダリング体験会を開催

体験会では、ストレッチやクライミングのルール把握、そしてアイマスクをしてのトラバース課題などに取り組んでいただき、体を動かすこと・壁に向き合う楽しさを伝えました。

オフライン講演

クライミング指導

プチ冒険倶楽部クライミング部にて指導

発達障害など心身の障害のある子ども・青年に対して、野外活動などアクティビティを通して支援を行う「プチ冒険倶楽部」。1年ぶりにクライミング部青年5名の指導を担当しました。特別支援学校を卒業し、コロナ禍も重なり運動機会が少ないという彼らも思いぎり身体を動かせていたのが印象的でした。

クライミング指導

亜細亜大学の授業にゲスト講師として登壇

亜細亜大学（東京都武蔵野市）のボランティア論授業に、代表小林がゲスト講師として登壇し、法人の活動内容とその設立経緯、自身の想いなどを講義しました。

オフライン講演

東京・台東区教育委員会主催イベントにて仮設ボルダリングウォール設置・運営を担当

東京2020 直前イベント「アスリートから学ぶLet's EnjoyスポーツDX」に参加し、パラクライミングの体験指導をしました。

仮設壁設置

クライミング指導

視覚障害のある子どもの余暇活動にてクライミング教室を担当

関東圏を中心に、視覚障害の子どもの余暇活動を行う「いちごの会」の小学3、4年生の4名にクライミングを指導しました。

クライミング指導

発達障害のある青年のための余暇活動支援グループにてボルダリングを指導

茨城県つくば市の「つくばユースMDC」と協働で9名にボルダリングジムモンキーマジックつくばにてボルダリング体験プログラムを提供しました。

クライミング指導

「盲ろう者のクライミングプログラムができるまで」ウェビナー登壇

盲ろう者の人たちがより良く文化やスポーツを楽しむことを目指した団体アーツ芯（アーツコア）企画のオンラインイベントにて、木本が講演(手話通訳あり)を行いました。

オンライン講演

つくば市にて小学生にクライミング指導を担当

NPO法人ネクストワン主催、スポーツ探検隊・クライミング探検の指導を担当しました。

1年生から6年生まで19人の小学生がクライミングジムを貸し切り、ルートとボルダリングに挑戦しました。

オンライン講演

プチ冒険倶楽部クライミング部にてアウトドアクライミング指導

「プチ冒険倶楽部」のクライミング部の青年4名に、2度のインドアクライミングスクールを経て、集大成として岩場までのハイキングとアウトドアクライミングの指導を行いました。

クライミング指導



ロッククライミングキャンプの指導を担当

毎年恒例となったNPO法人ネクストワン（茨城県つくば市）主催の夏休みのロッククライミングキャンプ。長野県川上村の廻り目平キャンプ場にて3日間、小学1年から高校1年生まで18名の指導を担当しました。

クライミング指導

筑波技術大学の健康スポーツ教育科目におけるシーズンスポーツ体育集中授業の指導を担当

健康スポーツ教育科目における3日間の集中授業を担当し、視覚障害のある3名の学生にビレイなどを実践してもらいました。

クライミング指導

神奈川県立スポーツセンターにて「障がい者スポーツ教室（ボルダリング）」の指導を担当

視覚障害、知的・精神障害の子どもたちとその保護者・兄弟の方を含め30名ほどの方を対象にボルダリングを指導しました。

クライミング指導

北海道札幌視覚支援学校にてボルダリングの指導を担当

幼稚部～中学部の12名の児童・生徒に校内のウォールでボルダリングの指導を行いました。同校への訪問は2年ぶりでした。

クライミング指導



埼玉県川口市立岸川中学校にて代表小林が講演

青木地区の保護司会のご協力を頂いた同校全校生徒を対象とした非行防止教室にて、代表小林が講演を行いました。

オフライン講演

こころのプロジェクトに夢先生として登壇

JFA(日本サッカー協会)のこころのプロジェクトにて、埼玉県さいたま市立三橋中学校2年生1クラスの授業に登壇しました。

オンライン講演

代表小林が宇都宮市立平石北小学校にて講演

全校児童を対象に3時間をかけて、代表小林が「生き方講演会」の講師として特別授業と質疑応答を行いました。

オフライン講演

第108回ロービジョンの集いに登壇

公益社団法人NEXT VISION主催イベントに「挑み続ける 世界の壁、岩、そして未来！」と題して、代表小林が登壇しました。

オンライン講演

代表小林が東洋大学にてゲスト講師を担当

東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科の専門科目の授業に今年も代表小林が登壇させていただきました。

オンライン講演

Media **メディア情報**

新聞掲載 1月6日(水)の毎日新聞朝刊東京版に掲載

「見えない壁だって越えられる 障害者に広がるクライミングの輪」

Web掲載 ROKXのWebサイトに代表小林のインタビュー掲載

クライミングウェアのROKXの「ロックスフレンズプログラム スペシャルインタビュー」掲載

雑誌掲載 雑誌『山と溪谷』(山と溪谷社)2021年3月号に掲載

情報ページ「Yamakei Journal」にて「モンキーマジックが保健文化賞を受賞」と紹介

Web掲載 株式会社ゴールドウイン コーポレートサイトに掲載

コーポレートサイトのCSRニュースで「THE NORTH FACE Monkey Magic Tee 2021年モデルを発売 支援Tシャツで障がい者クライミングの普及活動を支援して16年目」と掲載

Web掲載 CLIMBING-net (クライミングネット) に掲載

「『THE NORTH FACE Monkey Magic Tee』 2021年モデル販売中」

雑誌掲載 東京都人権啓発センター人権情報誌に掲載

代表小林が表紙に選ばれ、特集インタビューが掲載。

「見えない壁だって、越えられる。クライミングで、互いの壁を取り払い、理解し合う」

雑誌掲載 雑誌『ROCK&SNOW』にサポートTシャツが掲載

雑誌掲載 雑誌『LEE』(集英社)2021年9月号に掲載

「TABLE FOR TWO」代表&スタッフの「サステナブル投資先」のおすすめとして選出、クライミングを通じて学ぶ多様性理解の活動として紹介

動画出演 スポーツ・フォー・トゥモロウの動画に登場

「パラスポーツから広がる共生社会」と題して東京2020パラリンピックに合わせて公開された動画に、モンキーマジックが2018年にケニアで行ったプログラムの映像が使用された

雑誌掲載 タワーレコードのフリーマガジンのコラムに掲載

フリーマガジン「intoxicate」8月号 濱田マリさんのコラムにクラシックTシャツが登場

新聞掲載 Web掲載 産経新聞夕刊大阪地方版、Web版に掲載

「万博で共生社会発信を」代表小林のインタビュー。大阪本社発行の夕刊は1面トップ

Web掲載 ザ・ノース・フェイスのWALL/HUMANに掲載

「BEYOND THE INVISIBLE WALL 視覚障がいクライマーが、“見えない”壁の先に見出したもの」五輪でクライミングのユニフォームを担当したザ・ノース・フェイスのメディアに掲載

動画出演 ドキュメンタリー映画『Figure8』の予告編が公開

本編の完成、公開は2022年初夏予定。主題歌はMONKEY MAJIK

雑誌掲載 雑誌『ROCK&SNOW』にジムスリッポンが掲載

サポートグッズ「シブヤフォントxモンキーマジックのジムスリッポン」が掲載



サポートグッズ・その他の事業

サポートグッズ(一部)

THE NORTH FACE サポートTシャツ 2021

17作目となるコラボレーションは、岩山の尾根から描かれた5本のルート図に、モンキーマジックのスローガンである「NO SIGHT BUT ON SIGHT」のアルファベットがひとつの点線で繋がったグラフィック。



2021 CHUMS バッグ

注目はロープシートにもなるレジャーシート入りボストンバッグ。その他にもデイパック、ショルダーバッグ、チョークバッグ、サコッシュ、キーコインケースの6種類。日常にもクライミングにも大活躍で、視覚障害の方も使いやすい設計。



ジムスリッポン (シブヤフォント)

クライミングジムで履ける「軽くて・かさばらない・格好いい！」をコンセプトに制作されたアイテム。2種類の力強いデザインのパターンは、障がいのある人の描いた文字や数字からデザインされた「シブヤフォント」から選定。



寄付金額に応じてサポートグッズをお贈りしています。

いただいた寄付は障害のある児童生徒や大人を対象としたクライミングスクールや、障害がある方もない方も共に楽しめる交流イベントの運営など様々な普及啓発活動に使われます。

その他の事業(一部)

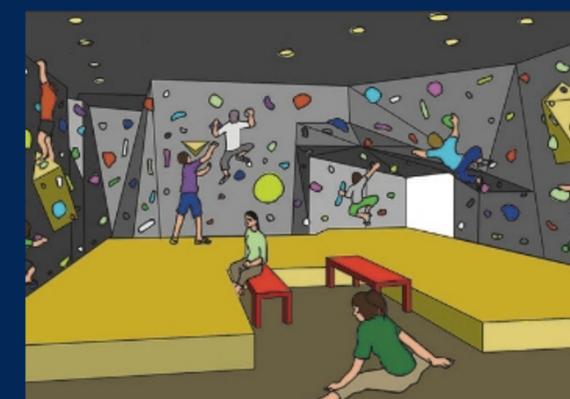
イベント用仮設ウォールレンタル

スポーツイベントや催事企画、フェス会場、研修会などに出展実績がある仮設壁レンタル事業。併せて障害者理解をテーマにしたワークショップや、専門ファシリテーターによる研修プログラムとしての提供も可能です。



モンキーマジックつくば

まもなく8周年を迎えるモンキーマジックの根拠ジム。つくばエクスプレスつくば駅直結。〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-6-1 トナリエつくばスクエアQ't (キュート) 3F



寄付型自動販売機

モンキーマジックの活動に賛同いただいたクライミング・ボルダリングジムはじめ各施設に設置いただいている寄付型自動販売機。売り上げの一部が、モンキーマジックへの寄付となり、障害者クライミング普及の支援に使われます。



お気軽にお問い合わせください info@monkeymagic.or.jp

他にもダイバーシティ（社会の多様性）や障害者理解をテーマにした講演会やワークショップ、研修なども実施します。ご支援協働についてはお気軽にお問い合せください。

Donation/Support 寄付・協賛

2021年の寄付・協賛について

寄付・協賛の内訳



個人寄付の内訳

- サポートグッズ 2,029,000円
- 追加寄付 78,500円
- 直接寄付 120,000円

のべ**437**名の方から個人寄付いただきました。
※NPO法人モンキーマジックのHPを通じたご寄付

支援企業様

寄付企業/団体(一部)

第一生命保険株式会社、朝日ライフアセットマネジメント株式会社、富士フイルム ビジネスイノベーション株式会社 端数倶楽部、お金をまわそう基金、アズビル株式会社、azbil みつばち倶楽部、株式会社ヤフー、gooddo株式会社、アサヒ飲料寄付型自動販売機設置各オーナー

賛助企業

東商アソシエート株式会社、株式会社シーワテック

協賛企業

THE NORTH FACE (株式会社ゴールドウイン)、CHUMS (株式会社ランドウェル)、株式会社シーワテック、株式会社箕面ビール、株式会社敬洋、アサヒ飲料株式会社、株式会社カンセキ、ROKX (株式会社エスシーティージャパン)



SHIEWA TECH



About NPO法人モンキーマジックとは？



ビジョン

障害者クライミング普及活動を通じて、多様性を認め合えるユニバーサルな社会を実現し、より成熟した豊かな社会を創ります。

ミッション

モンキーマジックとは、「見えない壁だって、越えられる。」をコンセプトに、フリークライミングを通じて、視覚障害者をはじめとする人々の可能性を大きく広げることを目的とし、活動しているNPO法人です。

SNS



2022年度予定の事業

- 障害者を対象とした季節ごとのアウトドアクライミングスクール
- 障害のある女性を対象としたクライミングプログラム
- 全国交流型クライミングイベント新地域立ち上げと発展の支援

来年度もご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人モンキーマジック

2005年8月25日設立

事務所 | 〒167-0042 東京都杉並区西荻北4-4-2 セレスト西荻窪208

本部 | 〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町4丁目11番6

✉ info@monkeymagic.or.jp

🏠 <https://www.monkeymagic.or.jp/>